

秋田県



藤里町

ふじさわと元気塾

地域の宝、掘り起こす

まちづくりパートナー 菊池 新一氏
 協賛NPO法人 遠野山・里・暮らしネットワーク 会長 高橋 博保氏
 代表取締役 芳名の森 代表取締役 高橋 真喜子氏
 法政大学 名誉教授 法政大学 名誉教授 花巻市コミュニティアドバイザー

お宝マップの調査を行う学生とまちづくりパートナー



お宝マップの作成に当たり、意見を交わす学生と粕毛地区の住民たち



大学生と協力し知恵絞る

世界自然遺産白神山地の麓に位置する秋田県藤里町。人口減少や高齢化が進むこの町で、地域活性化に取り組む団体が「ふじさわと元気塾」だ。2010年の活動開始以来、粕田の保全や高齢者宅の障害支援、買い物支援といった活動などに取り組みと同時に、秋田県内で地域貢献活動に取り組む大学生グループ「AFCアーク」も協力し、地域住民との交流活動などを行っている。

そのような中、地域活性化をさらに加速させようというまちづくり元気塾に応募し、6年度の支援団体に選定。「共助の考えを生かして大学生と一緒に

地域を支える仕組みづくり」をテーマに、AFCの学生と一緒に活動に取り組んだ。

まちづくり元気塾の活動として、まず取り組んだのは参加者の思いの共有。地域住民と大学生、まちづくりパートナーが協力して藤里町の強みと弱みを抽出。これらをもとに「夢語り」としてまとめ、目指していく方向性を話し合った。

その中で浮かび上がったキーワードが「地域の宝」だった。これを徹底的に掘り起こす活動として、まちづくり元気塾が取り組んだのは町内の粕

毛地区を対象とした「お宝マップ」づくり。参加者が

地区内の各戸を訪ね、自然や食べ物、珍しい特技を持った人、財力などについて聞き取り調査を実施。結果、アユなどの川魚が豊富な点や料理名人が様々な「お宝」が地区内に存在していることが判明した。

お宝マップを生かし、ワークショップで行われたのは、お宝ふじさわと元気塾やAFCだけ

藤里町のオススメ

藤里町の特産品、「白神山地まいたけ」。白神山地の清らかな水ときれいな空気のもと、圃床栽培されたマイタケは天然マイタケに近い豊かな香りと味わいが特長だ。栽培の最盛期は9月から12月だが、年間を通じて栽培されており、一年を通じていつでもそのおいしさ味わうことが可能。天ぷらや焼きたんぽこ餅、炒めもの、炊き込みご飯など様々な料理にマッチする。また、最近ではおいしさはもちろん、美容効果にも注目が集まっている。



白神山地まいたけを使ったお弁当

このほか、藤里町では「サフォーク種」と呼ばれる羊も特産品だ。町内では、ラムとマトンの中間で「ホゲット」という柔らかく臭みも少ない新鮮な羊肉を堪能することができる。



お宝マップの発表に熱心に関与する粕毛地区の住民たち

でなく、粕毛地区の多くの住民が参加し、活発な意見交換を行った。まちづくりパートナーからは、「無理せず、楽しくやること」が持続可能な活動の秘訣として、粕田さんに練る方など、外から関わらずに人々をできるだけ巻き込み、交流していくことが大切」といった助言があった。

その中で出てきたアイデアは、農泊事業や地元産品を使った農家レストラン、地区の情報を知らせる広報紙の発行、地区の歴史や名所を知らせる散歩ツアーなど、まちづくり元気塾の活動から生まれたこれらのアイデアをもとに、参加者は積極的な活動を開始した。